



令和3年度 公開審査会報告書

令和3年6月20日（日） 13:00～16:00

高知市たかじょう庁舎





こうちこどもファンド公開審査会スケジュール



日時：令和3年6月20日（日）13時00分～

会場：高知市たかじょう庁舎

13:00

こどもファンド公開審査会 開会

13:10～

応募団体による公開プレゼンテーション【第1部】 開始

応募団体が3分以内で発表し、それに対して審査員が5分以内で質問をします。各団体のプレゼンテーションと質疑応答の内容を受けて、こども審査員が一次判断を行います。

14:00～

審査員による公開協議

一次判断の結果について、審査員が公開で話し合いを行います。そのなかで、審査員から、もう少し聞きたいことがあるというグループについては、再度、審査員から質問をして、最終判断を行います。

14:25～

休憩

14:35～

応募団体による公開プレゼンテーション【第2部】 開始

15:00～

審査員による公開協議

15:30～

休憩

15:35～

審査結果発表

15:40

閉会



【目次】

| | |
|---|------|
| 1 開会 | P 1 |
| ・開会のあいさつ 高知市長 岡崎 誠也（副市長 松島 研 代読） | |
| ・審査員等の紹介 | |
| ・審査の流れ、審査に関してひとこと | |
| 2 応募団体によるプレゼンテーション・質疑応答【第1部】 | P 4 |
| ・発表団体① Different | |
| ・発表団体② Village Jamboree | |
| ・発表団体③ おおつっ子 | |
| ・発表団体④ 未来をかえ隊 | |
| 3 審査員による公開協議 | P 12 |
| 4 応募団体によるプレゼンテーション・質疑応答【第2部】 | P 18 |
| ・発表団体① 久重 natural チーム | |
| ・発表団体② 高知学芸中学校生徒会 | |
| ・発表団体③ 土佐女子おれんじ flowers | |
| ・発表団体④ AOYAGI 地域盛り上げ隊 | |
| 5 審査員による公開協議 | P 26 |
| 6 審査結果発表 | P 31 |
| ・審査結果発表 吉門副審査委員長 | |
| ・こども審査員からの感想発表 | |
| ・講評 卯月審査委員長 | |
| ・畠中アドバイザーより一言 | |
| 資料編（助成金交付要綱・アンケート結果） | P 35 |



1 開会

開会のあいさつ 高知市長 岡崎 誠也（副市長 松島 研 代読）

「こうちこどもファンド」は、将来の高知市のまちづくりを担う子どもたちの「自分たちのまちを良くしたい」という想いを実現しようと平成24年度から取り組みを始めており、今年でちょうど10年目の節目の年を迎えました。

「こうちこどもファンド」では、これまでに延べ65件の事業に助成を行ってきましたが、防災・清掃・食・イベントなど、子どもたちが自ら考えたさまざまなまちづくり活動に取り組み、地域の内外の方たちと交流し、日常とは違った経験を積むことで広く関心を持ち、いろいろな活動に参加するきっかけにつながってきたと考えています。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症が全国的に広がったことや学校が休校になる中で、皆さんが地域で活動することが難しいと考え、残念ながら「こうちこどもファンド」の助成事業を中止しました。

いまだに感染症が落ち着く見通しは立っていませんが、昨年と違って、新型コロナウイルスがどんなものかわかってきましたので、現在は社会全体で各種の感染対策がしっかり取られており、皆さんが地域での活動も行えると考え、また、高知市としても、何より、まちづくりに対する子どもたちの想いをしっかり応援したいということから、今年度は「こうちこどもファンド」の助成事業を行うこととしました。

本日の公開審査会は、これまでの対面方式からオンライン方式に変更した上で審査を2部制とし、審査会全体の時間を短くするなど、できる限りの感染対策を取りながら開催することとしております。開催にあたって、関係する皆様のご理解、ご協力をいただきましたことに、改めまして感謝申し上げます。

今年度は、各地域や学校から8グループの応募をいただきました。これまでも、それぞれに工夫を凝らした発表で、絶対に助成を受けて活動をするんだという意気込みが伝わるプレゼンテーションがされており、本日は、例年にも増して熱いプレゼンテーションを期待しています。

「こうちこどもファンド」は、活動そのものを子どもたち主体で取り組むことや、助成するグループを選ぶ審査を子どもたちによる「こども審査員」が行うことによって、子どもの目線を取り入れられるようにしている点が大きな特徴です。

高知市では、住民の皆さん同士の「助け合い」や「支え合い」を将来にわたって続けていくために、また、誰もが住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるまちづくりをめざして、地域のさまざまな団体や住民、行政等がそれぞれの役割を果たしながらつなぎ、みんなでみんなを支えあう「地域共生社会の実現」に向けた取組を進めており、本年4月からはこの仕事を担当する地域共生社会推進課という課を設けています。

私としても、「こうちこどもファンド」を通じた活動により、子どもたちだけでなく、関わってくださる周りの大人たちも含めた住民同士のつながりが深まり、また新たなつながりが生まれていくことを期待しています。

本日は、応募団体の子どもの一生懸命のアピールと、こども審査員の皆さんの激励のこもった審査が行われることを期待しています。

どうぞ、よろしく願いいたします。



審査員等の紹介

【こども審査員（11名）】

宇賀 みくる（小高坂小学校3年）、岡崎 倫太郎（高知小学校4年）、高橋 奏（大津小学校6年）、古谷 愛夏（高知学芸中学校1年）、増田 光祥（高知中学校3年）、川口 実久瑠（西高校2年）、浅井 萌菜（西高校2年）、近森 蒔南（高知商業高校2年）、田岡 夕良（小津高校2年）、森本 向日葵（丸の内高校3年）、宇賀 みくも（ルネサンス大阪高校3年）

※青木 晴楓委員（土佐塾高校1年）、竹崎 千紘委員（小津高校2年）、田部 祥一郎委員（嶺北高校3年）は、審査会当日は欠席。

【大人審査委員（6名）】

審査委員長・卯月 盛夫（早稲田大学社会科学部・社会科学総合学術院教授）

審査副委員長・吉門 文恵（株式会社ケンジン代表取締役社長）

梶 英樹（高知大学地域連携推進センター地域コーディネーター講師）

尾崎 昭仁（特定非営利活動法人NPO 高知市民会議プロジェクトマネージャー）

山本 正篤（市教育長）

谷脇 禎哉（市市民協働部長）

※森岡 千晴氏（高知県青年団協議会会長補佐）は、審査会当日は欠席。

【サポート役（2名）】

こども審査員サポーター 宮田 純子（市教育委員会学校教育課 指導主事）、

こどもファンドアドバイザー 畠中 洋行

審査の流れ

- ①助成申請した活動内容について、各応募団体が公開によるプレゼンテーションを行います。（持ち時間は3分間）
- ②各応募団体のプレゼンテーションが終了するごとに、審査員との質疑応答の時間を設けます。（5分間）
- ③公開プレゼンテーションと質疑応答の結果をふまえ、こども審査員11名が、各応募事業について「いいね!」「もう少し質問がある」「もうちょっと!」のいずれの項目に該当するか、一次判断を行います。
- ④一次判断の結果をもとに、「助成をするかしないか」について、こども審査員と大人審査委員が公開で審議を行います。また、「もう少し質問がある」「もうちょっと!」にシールが貼られている団体に対しては、審査員から再度、質疑応答の時間を設けます。
- ⑤公開での審議後、こども審査員11名が、助成するかしないかについての最終判断を行い、こども審査員の過半数、6名以上が助成すると判断した場合に助成が決定します。
- ⑥審議結果については、公開の場で発表します。

審査に関してひとこと

【宇賀みくも委員から】

6月13日に事前審査会を行い、3つの審査項目を決めました。

- ①子ども主体で地域の人をまきこめる魅力的な活動か
- ②未来に向けた持続性のある計画的な活動か
- ③臨機応変に対応できるか（コロナ）

この3つを基準に審査を行います。

皆さんのプレゼン、期待しています。今日はよろしくお願ひします。



2 応募団体によるプレゼンテーション・質疑応答【第1部】

発表団体① Different （活動テーマ：地域との関わり×防災）

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】



こんにちは。私たちは Different です。Different は地域との関わりを最重要視した防災イベントの実施を考えています。では、なぜこのような企画をしたのか、私たちの最終ゴールなどについて説明します。

まず、私たちは、それぞれが何をしたいのかについて話し合いました。その結果、主に4つの意見が出ました。それが、子どもたちとの触れ合い、SNS を使い写真で発信すること、防災についての学習、イベント開催の4つです。

私たちが話し合う中で、「人との関わりと防災」というものを中心に計画を進めていくことにしました。この様に、私たちのやりたいことに共通していることは、「人との関わりと防災」だったので、国際中学校周辺の地域、鴨部の方々と一緒にイベントを通して防災を学ぶという案を思いつきました。簡単なイベント内容としては、防災ゲームと簡易トイレづくりを考えています。ゲームと簡易トイレづくりを通して防災を学び、交流を深めようと考えています。

私たち Different の目標は、防災イベントを開催し、共に学ぶことによって、新たなコミュニティを作り出すことです。また、イベントを開催することで、地域との深い関わりが生まれ、まちがより良くなると思います。

Different とは、フランス語で「違い」や「異なる」といった意味を指します。私たちは、人と人とのつながりの場を作るにあたって、人々の違いを受け入れ、そのうえで、居心地の良いコミュニティを作りたいと考え、常に人々の違いを思い出せるようにこの名前を付けました。

私たちは、新しいコミュニティを作り、交流やつながりを深め、継続的に防災について学ぶことを中心に活動していきます。地域内でお互いに助け、支え合えるような地域の人たちとの関わりを深めるとともに、防災に関して知識も深めてもらおうと考えています。

これで私たち、Different の発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。

【質疑応答】

高橋委員

イベントを開催するときに、コロナ対策とかはどんなふうにしようと考えていますか？

Different

まず、イベントは屋外を想定しています。また、イベントの中で、簡易トイレづくりと防災ゲームこの2つのブースを分けることによって、人を分散させ、密を防ぎます。また、私たち運営側は、消毒やマスクの徹底、そして簡易トイレづくりなどでほかの人が使用した用具を回収し、消毒をするなどの対策を行います。そして、このイベントは学校での開催ということで、体温計などをお借りして、受付前の検温や名前や連絡先など個人情報の記入を促そうと考えています。

宇賀みくも委員

2つお聞きします。一つ目が、活動の時期ですが、10月からの活動の予定が書かれていませんが、皆さん3年生なので、受験とかでもう何もしないのか、それとも何も決めていないのかというのを教えていただきたいです。

Different

私たちは、生徒会活動やSA活動などがあってそれぞれが忙しいので、期間を10月下旬までにして、そこからは活動報告書の作成を考えています。私たちは中高一貫校で、勉強とかをみんなが集中したいと考えているので、そこから先はイベントとか具体的な活動を入れずに、報告書作成ということだけ考えています。

宇賀みくも委員

7月から10月の間で濃厚な活動はできますか？

Different

私たちはイベント実施までに、イベントの告知活動や準備のためにたくさんのことを考えています。そして、イベントが終わった後には、イベントの内容についてリーフレットを作ったりする活動も考えています。なので、10月下旬までたくさんことができ、たくさんの方々に防災についての情報を伝えられると考えています。

宇賀みくも委員

イベント開催後に防災パンフレットを配布したいと書いていますが、防災パンフレットの内容が決まっていたら教えてください。

Different

防災パンフレットとおっしゃっていましたが、私たちが考えているのは、実際に私たちが行った活動について、どういう活動を行ったのか、どのくらいの方がいらっしまったのかなど、私たちの行った活動の結果などをチラシやリーフレットにまとめて発信したいという意味なので、防災についての内容をというのではなく、私たちの活動の内容や状況などを地域の方に発信することを目的に配布したいと考えています。

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】



皆さん改めましてこんにちは、Village Jamboree です。今から活動の目標と内容についてお話していきます。まず、私たちが活動していく中での目標についてです。

私たちは活動の目標として、地域活性化を目指し、高知市を盛り上げるという目標をみんなで決めました。それを実現するための内容についてお話ししていきます。

活動の内容としては、「魚の棚商店街」「柳町商店街」「菜園場商店街」「升形商店街」の4つの商店街をパンフレットと動画で、商店街の魅力と高知の魅力をPRしていくというものです。また、動画などはSNSを使い発信していく予定です。なぜ、SNS を使って活動するのかというと、このパンフレットの主なターゲットというのが若い人たちだからです。10代から20代の人たちはかなりSNSを使っている印象があります。私たちの学校でもよく利用している女子や男子を見かけます。なので、私たちだからこそ若者の視点により近く考えることができると思ったので、SNSを通し発信していくと県外の方にも、高知県に住んでいる若い人たちにも高知県の魅力が伝わると思い、SNSを使うことにしました。

また、パンフレットについても配るだけでなく、Instagramなどを使い、県外の方にも伝えていく予定です。動画についても、YouTubeやInstagramを使って発信していく予定です。また、パンフレットも大きくて見やすいA4サイズにしました。そして、パンフレットを置く場所としては、高知市内の中学校や高等学校などに置いてもらったり、やはり人が多いオーテピアさんなどの公共施設や利用者の多い高知駅や高知龍馬空港などで配布させてもらったりする予定です。

最後に、この活動によって、今、シャッター街になっていたりする商店街が少しでも活気であふれるような明るい商店街になればいいなと思っています。また、今は世間的に新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から自粛の期間ですが、収まったら高知へ来ようと県外の方々が思ってくれたらうれしいです。ご清聴ありがとうございました。

【質疑応答】

増田委員

SNSなどを活用して広げていくとおっしゃっていましたが、Instagramなどのアカウントは最初は限られた人しか見れないと思いますが、それを周りに広げていく方法はありますか？

Village Jamboree

私たちビレジャンは、一度先輩たちが活動していたことがあるのですが、そのおかげで、SNSのアカウントとかYouTubeのアカウントとかもあり、フォロワーもたくさんいたので、そこで「もう一度活動します」という報告をしたらそういう人が増えるんじゃないかなと思っています。

宇賀みくも委員

先ほど、前に活動をされていてアカウントがあると言っていたと思うんですけど、そのフォロワーとか把握しているだけでいいので数を教えてください。

Village Jamboree

私も一度、二度見せてもらったことがあるだけで、きちんとは覚えていません。ごめんなさい。

森本委員

資料を見る限り、約1カ月で取材から配布まで行おうと思いますが、取材はどれくらい行きたいと考えていますか？

Village Jamboree

資料を見てもらって、少し誤解があったかもしれないですが、1カ月に1回ではなく、2カ月に1回で自分たちにできる範囲のペースで行うようにしています。回数としては、6回から5回のペースで予定しています。

古谷委員

1回につき、フリーペーパーは何部くらい発行する予定ですか？

Village Jamboree

1回につき、だいたい100部位を発行しようと考えています。

田岡委員

一昨年から始めていると思うんですけど、この活動をすることによって、実際に商店街にどのような効果があったのかを教えてください。

Village Jamboree

一昨年は私たちではなく、私たちの先輩たちが活動していて、すべてが分かるというわけではないですが、それによって、私たちが通るときにちょっとは賑やかになっているんじゃないかなというのは感じています。

発表団体③ おおつつ子

(活動テーマ：キラピカ大津クリーン大作戦～今、私たちにできること～)

【劇を交えながらパワーポイントを使ったプレゼンテーション】



これからおおつつ子の発表を始めます。

私たちの住む大津の公園は、たくさんの方が利用しています。

「いやー、明日のテスト嫌やね」「そうやねー」(ゴミをポイ捨てる)

この様に、使い方が良くなく、ゴミをポイ捨てる人が多いので、ゴミが落ちているところをよく見かけます。また、コロナ禍で、大津地区一斉清掃や七河川一斉清掃が中止となり、地域全体をきれいにできる機会がなくなってしまいました。そこで、私たちができる身近なこととして、一人一人が気持ちよく公園を使えるために公園をきれいにしたいと考えました。

次に、活動内容についてです。まず7月に、美術部にポスター看板の作成依頼を行います。9月にはポスター看板の設置と、舟入川沿いの清掃をしたいと考えています。10月・11月には、大津中文化祭、大津文化祭での活動報告を行います。模造紙に現時点での活動結果をまとめ、地域の方々に発表したいと思います。9月から12月には、月に1回清掃ボランティアを集めて、清掃活動をしようと思っています。また、可能であれば、ゴミ箱の設置なども考えています。清掃ボランティアは大津中学校の生徒で、生徒会執行部10人、生活委員4人から6人、担当ボランティアで行おうと思っています。

(清掃活動中)「こんにちは！何しているんですか?」「ゴミ拾いをしています」

「僕にも手伝わせてください」「いいですよ」(清掃道具を渡す)

この様にゴミ拾いをしている人がいたり、ポスター看板があることによって、ゴミのポイ捨てをやめようと思う人が増えると思いました。また、公園がもともときれいだと、ポイ捨てをするのが後ろめたい気持ちになると考えました。公園がきれいになることによって、私たちは、きれいな大津を誇りに思えたり、他の地域からの大津の印象が良くなります。そして、私たちはもっと大津が好きになれると考えました。私たちは今後このような取り組みを行っていく予定です。以上でおおつつ子の発表を終わります。

ありがとうございました。

【質疑応答】

近森委員

10月、11月の文化祭で地域の方へ発表すると書いているんですけど、コロナの影響で文化祭が行えなかった場合、どのように伝えていくのか決まっていれば教えてください。

おおつ子

文化祭には、発表の部と展示の部があり、発表の部がコロナでもし中止になったら、展示の部でポスターを作って展示したりしようと思っています。

宇賀みくも委員

可能であれば、ゴミ箱の設置ってあると思うんですけど、どこにどのくらい置けたらいいと思っていますか。

おおつ子

今のところ清掃活動をしようと考えているのが、近くの児童公園と長瀬公園というのがあって、できれば両方にひとつずつ置きたいと考えています。

岡崎委員

ゴミ拾いの時間は何時から何時までですか？

おおつ子

ゴミ拾いも清掃ボランティアと言うのを募集して、15分から20分程度放課後掃除したいと思っています。

増田委員

活動内容の所ですが、7月から9月の間の予定が何か決まっていたら教えていただきたいです。

おおつ子

まだ活動が始まっていないので、活動の内容を生徒へ全校集会で伝えたり、地域の人にポスターや貼り紙などのチラシなどを配って活動を広めていこうと思います。

高橋委員

ゴミ箱の設置と書いていますが、ゴミ箱のゴミは回収しないといけないと思うのですが、12月以降の活動が書かれていないので、そのゴミの回収の時期とか、だれが回収するとか、そういうのを決めてあったら教えてください。

おおつ子

12月で一旦この生徒会の執行部は終わりになってしまうのですが、次の生徒会執行部につないだり、生活委員がつないでくれると思います。

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】



私たちは、未来をかえ隊です。会長の大崎です。副会長の竹崎です。梅原です。大塚です。これから、未来をかえ隊のプレゼンテーションを始めます。

まず、活動目標について説明します。私たちが目指す目標は、海の豊かさを守るための支えになることです。

次に、私たちの活動内容について説明します。私たちは、主に3つのことをします。

一つ目は、小学生やシルバーさんたちへ向けた、お誘いのチラシ作成、配布です。最近、川や海、町などにゴミが落ちている様子を目にします。実際に活動をすることで、ゴミに対する意識を高めてもらいます。

二つ目は、地域の人たちのための説明会を行うことです。説明会で、共同作業する目的や、内容について詳しく知ってもらいたいと思います。

三つ目は、実際に川に捨てられたごみを拾い集めます。このように、ゴミによって生き物たちがケガをしてしまいます。ポイ捨てにより捨てられたゴミを私たちが回収します。地域の人と共同作業を行うことで、コミュニケーションの身に着けにもつながります。

活動場所は、鏡川緑地公園から au ショップ前までの河川敷です。この場所を選んだ理由は、大きく2つあります。

一つ目は、鏡川にどういう印象を抱いているかアンケートをしました。その結果、鏡川が汚いと感じている人がおよそ3割もいました。その原因をゴミと答える人がほとんどでした。つまり、ゴミによって鏡川の印象が悪い方へと変わっていたのです。

二つ目は、これらの写真を見てください。これは、私たちが鏡川の下見に行ったときに撮った写真です。多くのゴミが茂みに隠れていました。

このような状態が続けば、2050年までには、海の生物より海に流れるゴミの方が多くなるといわれています。

す。川をきれいにすれば、海へ流れ出るゴミの量も少なくなるはずです。

最後に、コロナ対策・人数の成り立ちについて説明します。コロナ対策については万全の状態にします。入退場時の体温チェックをし、37度5分以上の場合、入場を禁止します。また、警戒レベルがもう一つ上がれば、中止しようと考えています。説明会代が浮くので、そのお金で、説明会で話す予定だったことをチラシに書いて配る予定です。人数は、地域の人たちと活動する際に、運営が4人では回らないため、活動を手伝ってくれる人たちを募集し、活動人数を増やしました。皆さんも、活動しませんか？

ご清聴ありがとうございました。これで、未来をかえ隊のプレゼンテーションを終わります。

【質疑応答】

高橋委員

コロナの感染状況が悪化した場合、中止も考えているとおっしゃっていたと思うんですけど、中止した場合、何かそれに代わるような活動について考えていることはありますか？

未来をかえ隊

自分たちだけで活動するというのも考えておりますが、やっぱり私たちはコミュニケーションをとりたいので、活動範囲を数名ずつに分け、ディスタンスを保ち活動したいと思っております。

森本委員

まず、活動の内容とかが、しっかり決まっていますよねと思いました。

質問なんですけど、9月から11月まで地域の人たちと清掃活動をすると思うんですけど、自分たちの中でこれだけ人が来てくれたらいいなとか、これくらい人を集めたいなとか目標とかありますか？

未来をかえ隊

だいたい15人程度小学生からシルバーさんたちまでできるだけ集まってほしいと思っています。

宇賀みくも委員

ゴミ拾いなんですけど、9月5日と19日の二日でやると思うんですけど、どのくらいの時間ゴミ拾いをするのかっていうのと、鏡川の公園からauショップのあたりまでを全部掃除するとなると広いんじゃないかと思うんですけど、人数で場所分けと違ってするんですか？

未来をかえ隊

場所が広いので、地域の人たちと自分たちとで人数を割って、グループを作ってそれぞれの場所に行くつか配置してやろうと考えています。

宇賀みくも委員

時間も決まっていたら教えていただきたいです。

未来をかえ隊

1時間半程度行うつもりです。

こども審査員による一次判断

こども審査員 11 名が「いいね!」「もう少し質問がある」「もうちょっと!」の 3 区分で一次判断を行います。

こども審査員が審査の際に何を重要と考えるかの評価ポイントは、公開審査会の 1 週間前に開催した「事前研修会」においてこども審査員が全員で話し合い、決めた項目を使用しています。

評価ポイント

- ① 子ども主体で地域の人をまきこめる魅力的な活動か
- ② 未来に向けた持続性のある計画的な活動か
- ③ 臨機応変に対応できるか（コロナ）



▲事前研修会で評価ポイントを決定した際の様子。

| No. | 団体名 | 一次判断 | | |
|-----|------------------|----------|---------------|---------|
| | | いいね! | もう少し 質問がある | もうちょっと! |
| 1 | Different | ●●●●●●●● | ●●●● | ●● |
| 2 | Village Jamboree | ●●●●●● | ●●●●●●●● | ●● |
| 3 | おおつっ子 | ●●●●●●●● | ●●●●●●●● | |
| 4 | 未来をかえ隊 | ●●●●●●●● | ●●●●●● | |

3 審査員による公開審議

【進行：卯月委員長】

皆さんの一次判断の結果を見ながら、4 団体についての最終判断のための議論をしたいと思います。

これまでの質疑応答を聞いていて、やはりオンラインのせいでしょうか、少し音が聞きにくいというようなことがあったように思えますので、私もできるだけゆっくり話そうと思いますけれども、質問する審査員の皆さんも、それから回答していただく応募団体の方々も、少しゆっくりめに、丁寧にお話しただけならありがたいとお思います。

先週もお話ししましたが、3つの判断のうちのちょうど真ん中ですね、「もう少し質問がある」（議論してみたい）という、ここに票を入れた審査員の方々を中心に、進めたいと思います。時間が許せば、「いいね!」あるいは「もうちょっと!」という方の意見も聞きたいと思います。



浅井委員

パンフレットの配布について、先ほども質問があったと思うんですけど、もしかしたら、SNS でパンフレットを配布することも視野に入れていらっしゃるのかなと気になったので。

Different

私たちは、もちろんその方法で考えています。もちろん、ポスターやパンフレットなど紙状の物でも配布しますが、SNS、Twitter や Instagram などでの投稿も行っていきます。



川口委員

イベントの告知の方法についてなんですけど、一つ目は SNS で発信と書いてあるんですけど、しっかりとアカウントを作って発信していくのか、ということと、ポスターを地域に掲示と書いているけど、掲示する場所は決まっているのかということを知りたいです。

Different

まず、私たちは Instagram や Twitter はアカウントを作って発信していく予定となっております。また、Village Jamboree の方々も SNS の使用率についてプレゼンテーションをしてくれたと思うんですけど、今の時代、情報社会では、中学生や高校生、もちろん、大学生や大人でも SNS は使っていると思います。その SNS を使用して私たちの活動をどんどん発信していけたらいいなと思っています。

そして、2つ目の質問の、地域の広報はどこにするのかという質問の答えとしましては、高知国際中学校のある鴨部を中心に地域の方々とコミュニケーションをとりたいと考えておりますので、国際中学校の横にある校区や駅などの人目がつく公共施設などにポスターを配布していただけないか、ということをお話していました。

増田委員

国際中学校のグループが3つあり、2つのうちの1つが地域と関連した企画をしているんですけど、その地域との関わりという点で似ているなと思ったんですけど、一緒にしたりするという事は考えていますか？

Different

現時点で私たちは一緒にして、一緒に作っていくということは考えていません。まず私たちが最重要視しているコミュニケーションですが、それに防災というものがついてきます。私たちは防災メインでやっていますが、他のグループでは少し違うように感じられたので、私たちのグループと他のグループが一緒になって活動を行っていくということは今考えていません。

卯月委員長

では、「いいね！」を入れてくれた1人と「もうちょっと！」を入れてくれた1人にそれぞれご意見を聞いてみたいと思います。まず、「いいね！」を入れてくれた高橋さん、どこがいいか応援演説をしてあげてください。

高橋委員

質問して、感染対策のこととかもしっかりと決められていて、そのイベント開催がきちんとできて報告書などでも伝えられると感じるところから「いいね！」を選びました。計画をきちんと立てられているので、その計画通り楽しめられるように頑張ってください。

森本委員

自分が感じたのは、10月下旬で報告書作成からすることがないので、個人の理由、個人が忙しいからって理由を出しちゃって、そうやって個人の理由を優先したら、それって地域のために本当になるのかなと思ってしまって、もし自分たちが中3で忙しいのなら、引継ぎとかも考えてたらいいなと思いました。

卯月委員長

ありがとうございました。

今回の審査基準に継続性というのもあったので、その点についてのご指摘かと思います。

公開協議② Village Jamboree

宇賀みくも委員

リサーチするときの取材の許可の取り方というのと、今の時期で言うと時短営業もあって、お店が閉まったりとか、休業とかもあって、そういうときにどう対応していくかというのを聞きたいです。

Village Jamboree

取材とかについては、基本的に土日とかのお昼くらいからお店に連絡して事前に許可を取ったりします。時短営業については、なるべく午後にならないように、平日とかよりはお客さんが増えるような日曜日とかに取材して、実際にどんな感じでやっているのかっていうのを取材していく予定です。

宇賀みくも委員

人が多い日曜日っておっしゃったと思うんですけど、お店の営業的にお昼のお客さんが多い時間に取材するのって営業上厳しいところがあると思うんですけど。どう考えてますか？

Village Jamboree

事前に連絡をしておいて、私たちの学校がない土日とかに時間を取ってもらって、その時間帯にあわせて私たちも動いていく予定です。

岡崎委員

なんでこの4つの商店街にしたんですか？

Village Jamboree

魚の棚商店街と柳町商店街に商店街の振興組合が無いということに気が付いて、まず、その商店街をPRしようと考えました。次に菜園場商店街と升形商店街については、まずは私たちが高知市内の商店街の一覧を見たときに、升形商店街と菜園場商店街をあまり知らないなと思ったから、私たちが知らないということは、他の人たちも帯屋町とかに比べて知らないんじゃないかなと考えたので、私たちと同じ視点からも考えて、この2つ、計4つの商店街を選びました。



卯月委員長

それでは今回も「いいね！」のお一人と「もうちょっと！」のお一人の2人に聞いてみたいと思います。

古谷委員

コロナ禍において商店街ってシャッターストリートになりつつあるじゃないですか、その商店街にフォーカスを当てている点がいいと思いました。

田岡委員

活性化が目標なんですけど、宣伝とかSNSの広告で私はそんなにできるとは思わなくて、もうちょっと活性化できるような案を出したほうがいいと思ったからです。

公開協議③ おおつ子

宇賀みくる委員

美術部にポスター看板の作製依頼と書いているんですが、これはダメだと言われたらどうするんですか？

おおつ子

これまでも週に一回アルミ缶回収を行っていて、そのアルミ缶回収のリヤカーも美術部が絵を描いてくれたり、いろいろ活動してくれているので、今回も協力してくれるということになっているので大丈夫です。

古谷委員

プレゼンのときに、あまりコロナ対策について触れられていなかったじゃないですか、今はどれくらいまで決まっているのですか？

おおつ子

私たちは公園の掃除をする予定で、公園の掃除をする人たちは学校にいる人たちなんです。だから、いつも会っているんですけど、



それで、地域の人たちとはコロナなので関われないということで、学校外に対してはコロナの被害が及ぶことはないと思いますが、万が一のため、消毒やマスクの着用などを行いたいと思います。

浅井委員

ポスター看板の設置についてなんですけど、そもそもポスター看板というのが案内ポスターとしての役割をするの、啓発ポスターとしての役割をするのが、今自分が分かっていなくて、それについて回答をお願いしたいのと、もし、啓発ポスターという回答が出た場合は、ただ単にいつも日常とかでペットボトルをちゃんとゴミ箱に捨ててねみたいなポスターとかも見るんですけど、それでも結局守られてないのを見るので、なんか工夫点とか決まったりするのかなと思って。

おおつ子

さっきも言った通り、ゴミ箱の設置も一緒に考えていて、ポスターは「捨ててはいけないよ」というようなポスターなんです。ポスターは意味がないと言われるかもしれないんですけど、とりあえずはやってみる、それがつながらなかったらつながらなかったで新しい計画を立てたいと思っています。



宇賀みくも委員

ボランティアの掃除を学校内だけでやるというのが引かかったんですけど、やっぱり審査項目の中に子ども主体で地域の人をまきこめる活動というので、地域の人に関わってないと、正直、自己満足なんじゃないかというのがあって、地域の人を呼び込むというのは視野に入れてないのでしょうか。

おおつ子

月に1回ある掃除、15分から20分くらいある掃除は学校内だけでやるんですけど、もう一つ、川の清掃というのがあって、川の清掃は、もう少し大人数で地域の人を巻き込んでやりたいと思っていて、でも、これからコロナの感染状況が悪化していったら、もうそれも学校内だけで、先生などにも協力してもらってやってもらいたいと思います。

森本委員

活動内容の7月なんですけど、美術部にポスター看板の作成依頼だけしか書いてないじゃないですか、その作成依頼っていうのは、美術部に全部任せっきりでポスター看板の作製を行うのか、自分たちも美術部の人たちに意見を出しながら一緒に作製するのが気になりました。もしそれだと、依頼するだけなので、7月の予定がほぼないんじゃないかなと思いました。

おおつ子

美術部にこういった言葉を入れてほしいとか、こういった内容の絵を描いてほしいとかを入れて、各公園に2枚程度貼ろうと思っています。

森本委員

例えば、今の段階でこういう感じにしたいとかいう、考えとか案とかはあるんですか？

おおつ子

先ほども言ったんですけど、「ゴミを捨てないで」とか「ペットボトルはゴミ箱に入れて」とかを入れたいと思っています。

公開協議④ 未来をかえ隊

田岡委員

この活動以外にも、鏡川の清掃活動があると思うんですけど、それとは別にこの活動を行う理由を聞きたいです。

未来をかえ隊

地域の人とというのでもそうですが、違う団体さんとも協力してやりたいです。



浅井委員

自分は「いいね！」よりの質問の方なんですけど、ハロウィンとかクリスマスを絡めて開催したいと書いていて、それにすごく興味を惹かれたんですけど、でもどうやって絡めるのかなって気になったので、教えてほしいです。

未来をかえ隊

掃除が終わったあとに、衣装とかを準備してということはできませんが、みんなにお疲れ様という気持ちを込めて何かサプライズというか、プレゼントするということを考えています。

岡崎委員

チラシを配るところはどこらへんですか？

未来をかえ隊

地域の方たちには、新聞に挟んだり、スーパーに置かせてもらったり、小学生は、各小学校に配布するようにします。

宇賀みくる委員

中止する場合もあると言っていたと思うんですが、延長の予定はあるんですか？

未来をかえ隊

延長は考えていて、今のところ、コロナの感染者は少しずつ減っているので、延長を考えています。

卯月委員長

では、最後「いいね！」を入れたお一人だけお話を聞きたいと思います。

近森委員

SDGsについて書かれていて、SDGsに注目してできている活動というのにすごく興味を惹かれて「いいね！」と思いました。



4 応募団体によるプレゼンテーション・質疑応答【第2部】

発表団体① 久重 natural チーム

(活動テーマ：里山保全で久重を発信！～SDGsで持続可能なまちづくり～)

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】



これから久重 natural チームの発表を始めます。

久重地域は高知市の里山にあり、自然がいっぱい。人が田んぼでお米を作って、そこに住む小さな生き物が里山を守っています。2年間のこうちこどもファンドで、久重の魅力を再発見しました。

今年は、どんなことをするんですか？

久重で採れる野草などの保存をしたいです。

また、星空観測では、これまで、星の専門家の方に教えてもらいましたが、今年は自分たちが星の案内人となり、説明をしたいです。

久重の川に住んでいる魚や生き物のことを調査・保全している会社の水生生物博士に川のことを教えてもらう予定です。釣り体験や川との触れ合いもしたいです。久重では、毎年、5月・6月にホタルが飛んでいます。僕の家からも見ることができます。10年後の子どもたちにも久重でホタルを見てほしい。久重でホタルの環境を守っているホタル博士に話を聞きたいです。事前に電話で約束をして、話を聞く調整を

します。そして、パンフレットや立て看板作りで、勉強した久重のことを発信したいです。

テーマは「里山保全で久重を発信！～SDGsで持続可能なまちづくり～」

久重の川は鏡川の上流。海にもつながっている。みんなで勉強したSDGs。

川をきれいにしたら、海もきれいになる。「海の豊かさを守ろう」

陸の生き物を守り、森林や動植物を保護しよう。「陸の豊かさを守ろう」

自然がいっぱいの久重にずっと住みたい。「住み続けられるまちづくりをしよう」

世界共通で解決するSDGsは大きな課題に見えますが、代々里山を守ってきた先人からバトンを受け継ぎ、私たちにできることを考えていきたいです。

これで、久重 natural チームの発表を終わります。

【質疑応答】

岡崎委員

みんなで釣りをすると行ってたけど、釣った魚はそのあとどうするんですか？

久重 natural チーム

川の学習で水生生物を学習して、魚を釣る体験をするのですが、釣りで釣った魚は食べるのではなく、最後は逃がす予定です。

宇賀みくも委員

内容が詰まったプレゼンで、個人的にはすごいいいなと思ったんですけど、応募は今年で3年目じゃないですか、ファンドの助成が終わった3年目以降、こういうことしたいとか考えていたら教えてほしいです。

久重 natural チーム

今のところ、3年間が終わってからのことは決まっていませんが、これからやるとなればどんどん考えていって、助成がなくてもできるようなことを考えたり、ここまでの3年間の間でやってきたことを基盤に活動していくかもしれません。

古谷委員

地域の想いを発信するために立て看板を作ったりとありますが、立て看板のデザインで何か参考にするものなどはありますか？

久重 natural チーム

今、久重にすでに交通安全のための立て看板や旗みたいなものがあるので、それらを見本にしてデザインを考えていきたいと思っています。

発表団体② 高知学芸中学校生徒会

(活動テーマ：澄み渡る朝倉目指して～あさかぜの絆と共に～)

【模造紙と写真を使ったプレゼンテーション】



これから高知学芸中学校生徒会のプレゼンを行います。姿勢、礼。

私たちが取り組もうとしている活動は、澄み渡る朝倉を目指して、あさかぜの絆と共にというテーマの朝倉地区の清掃活動です。私たちが通う、学芸中学校の校区である朝倉地区は、朝倉小学校や高知大学など、人が多く集まる施設があり、人の流れが盛んです。そのため、ゴミの問題が発生します。

この写真を見てください。この写真は、先月撮影したものです。

こちらの地図をご覧ください。こちらの地図の緑色の地点が、ゴミが落ちていた場所です。例を挙げると、線路沿いのゴミ、高知大学沿いのゴミ、川沿いのゴミなどがありました。このようなゴミを拾いたい。そう私たちは思いました。

また、この活動では、高知学芸中学の生徒会メンバーと一般生徒で行います。なぜなら、新型コロナウイルス感染拡大のため地域の人と共同で掃除をするのは危険だと感じたからです。

しかし、この活動を僕たちの中だけで終わらせるのは良くないと思いました。なので、清掃活動の終了後、活動の内容をまとめて、チラシにしようと思います。そして、そのチラシを、町内会等にお願いして配ろうと考えています。

また、次の生徒会にもこの活動を伝えていきたいと思っています。ずっと行ってきた活動を私たちの代で止めるのは、いけないと思います。だから、次の代へ伝えていきたいと思っています。

以上のような活動を私たちは考えています。朝倉の地域が、人も環境もより良くなることを目指して活動をしていきたいと考えています。

説明は以上です。これで高知学芸生徒会のプレゼンを終わります。姿勢、礼。

【質疑応答】

高橋委員

活動内容の所で、活動をまとめたチラシを作って、それを町内会、イベント等で配りたいと書いているんですけど、そのイベントとか、どこに配るかなど詳しく教えていただきたいです。

高知学芸中学校生徒会

先日、高知学芸中学校の生徒会担当者と話し合いをしました。その時、朝倉地区の町内会があるとお聞きし、その町内会長に後日、私たち生徒会メンバーが許可をもらいに行くという形でチラシを配ろうと考えています。

宇賀みくも委員

6月中の活動内容で、清掃活動を校内で呼びかけ、約 50 人を集めたいとありますが、50 人って結構多いと思うんですよ。50 人が一気に集まってしまうと危ないんじゃないかというのと、コロナ対策が決まっていたら教えていただきたいです。

高知学芸中学校生徒会

私の考えといたしましては、清掃活動は外で行うものです。新型コロナウイルスの密という状況にはならないと私は捉えました。そのため、50 人を目標として高知学芸中学校の生徒を集め、清掃活動を行おうと考えました。

発表団体③ 土佐女子おれんじ flowers

(活動テーマ：はちきんパワーで女性が暮らしやすいまちづくり！)

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】



みなさん、こんにちは。私たちは、土佐女子おれんじ flowers です。

みなさんは、女性特有の悩みがあることをご存知ですか？人に生理をからかわれたり、そもそも生理のことをよく知らなかったり、ここに上げているのはほんの一部で、他にもたくさんの悩みを抱えて生活しています。

これらの諸問題を解決するため、私たちは、この目標を掲げて活動をしようと思います。私たちは、自分でアンケートを製作し、女性の悩みを見つけます。現在考えているアンケート項目は、

- ①生理という言葉を知っていますか？
- ②生理はどのくらいの頻度で起こるか知っていますか？
- ③生理はどのくらい続くか知っていますか？
- ④生理用ナプキンを買ったことはありますか？
- ⑤女性の家族や友達などが理由もなくイライラしたり、落ち込んだりしていることを感じたことはありますか？

などです。それをもとに動画を作成します。これを通して、男女ともに理解を深めることが出来たらと思います。

なお、学校の保健室の柏原先生のほかに、県立安芸病院産婦人科医の都築先生のご協力を得られることになりました。そのことで、さらに良い作品ができると思います。これをDVDにして、市内の学校に配布します。小中高生に情報を正しく伝えることで、徐々に良い社会ができていくと考えています。私たちは、お互いを知る努力をしていく中で、男女差別を少なくして、女性の生きやすいまちをつくる活動をしていきたいと思っています。

ご清聴、ありがとうございました。

【質疑応答】

宇賀みくも委員

動画はどのような内容にするのか、自分たちの中でこの内容は入れたいなというのがありますか？

土佐女子おれんじ flowers

今考えている動画の内容は、先ほどお話ししたアンケートを集計して、そのアンケートをもとに、協力していただける外部の先生方からお話を伺ったりして良いものが作れたらいいなと考えています。

宇賀みくも委員

もし、自分たちの中でこれだけは絶対に DVD の中に入れたいという内容がありますか？

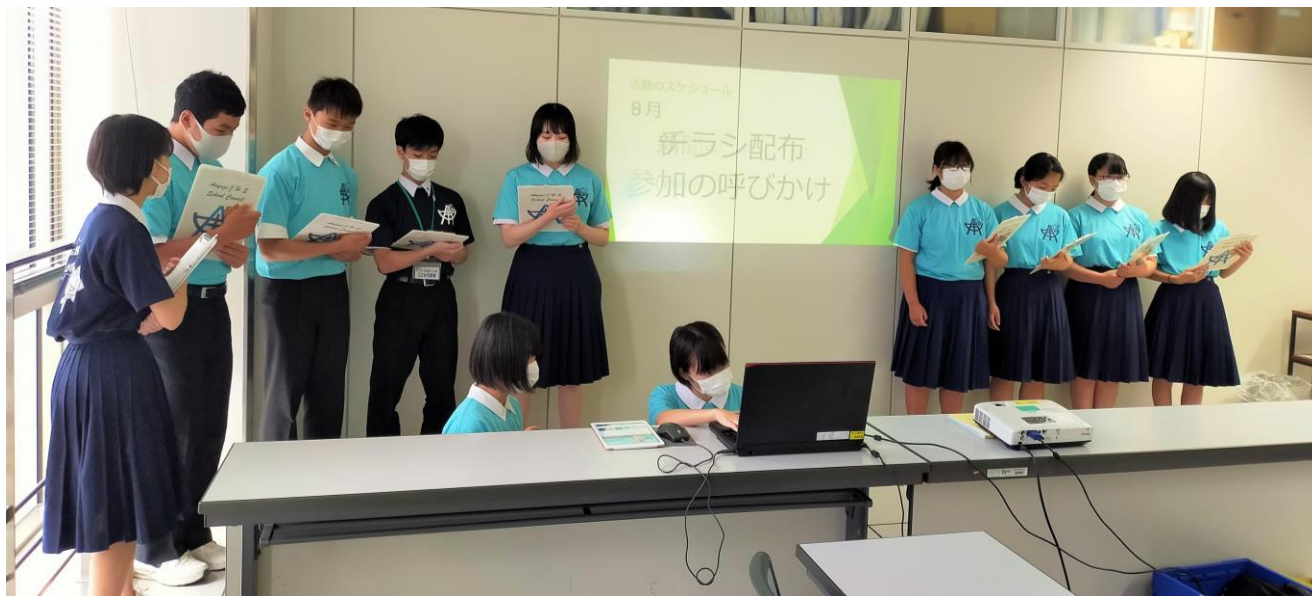
土佐女子おれんじ flowers

私たちの活動のテーマのようなものですが、生理とかのテーマって今までタブー視されてきたことだと思いますが、私たちが普通にご飯を食べたり、トイレに行ったり、それと同じことだと思うので、言いにくい今の世の中に疑問を感じていて、女性が声を上げやすい社会になるために私たちがまずは声を上げようというのがテーマの中にあるので、それが伝わったらいいなと考えています。

発表団体④ AOYAGI 地域盛り上げ隊

(活動テーマ：高須、五台山地域の魅力を沢山の人に知ってもらいたい)

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】



これから AOYAGI 地域盛り上げ隊の発表を始めます。姿勢、礼。

今年の活動テーマは、高須・五台山地区の魅力を沢山の人に知ってもらいたいです。昨年度は、コロナのため、あまり活動することができませんでした。2年前からの先輩方の活動を通じて、絶海池や学校周辺のゴミを減らすことが出来たり、濱口雄幸の生家の清掃を通して、地域の方と交流を深めることができました。

さらに、地域の方とのつながりが深まる中で、高須のコスモス畑を活用したイベントを企画し、実施したいと考えるようになりました。まだまだ、コロナの状況は厳しいですが、活動内容を工夫しながら、計画をすることで、たくさんの人に、高須・五台山地区の良さをアピールしたり、地域の環境や文化を守れるような清掃活動を頑張っていきたいです。

それでは、具体的な活動のスケジュールについて説明します。まず、毎月第2日曜には五台山の濱口雄幸の生家記念館の清掃活動に参加します。毎月の清掃活動を通して、地域の方との交流も深まってきているので、今後は青柳中の生徒の募集も募って、清掃ボランティアなどを計画したいと考えています。

8月には、新聞第1号を発行し、生家清掃の様子を報告したり、クリーン大作戦についての案内をしたいと思います。9月は、絶海池クリーン大作戦のチラシを配布し、地域の方や生徒に参加を呼びかけ、10月の絶海池クリーン大作戦に向けた準備をしていきます。絶海池クリーン大作戦の様子は、新聞第2号で紹介します。11月にはコスモス畑のイベントの計画、実施をしていきます。高須のコスモス畑は、近くに駐車場がなく、道路に駐車している車が多く、渋滞していたり、駐車している車をよけて通行するのが危険という課題があります。そこで、青柳中に車を止めてもらい、ウォークラリーをしたり、来てくれた人と写真を撮って交流をしたいと考えています。12月はコスモス畑のイベントについて紹介した新聞第3号を発行する予定です。そして、2月にもう一度絶海池クリーン大作戦を実施します。清掃活動の様子は、新聞第4号で紹介し、今年も今までと同じように、発行した新聞を冊子にまとめ、地域の方に配布する予

定です。

こどもファンドの活動を通して、私たちの住む高須・五台山地区の魅力を発信し、活気あるまちづくりに貢献できるよう、頑張りたいと思います。

これで AOYAGI 地域盛り上げ隊の発表を終わります。姿勢、礼。

【質疑応答】

高橋委員

コスモス畑のイベントを実施するとおっしゃっていたと思いますが、そのイベントについて、何をするか決まっていることはありますか？

AOYAGI 地域盛り上げ隊

コスモス畑のイベントは、ウォークラリーをしたり、写真を撮る看板を作って、そこで写真を撮ったりする活動を考えています。

古谷委員

コスモス畑のイベントにおける、ウォークラリーの問題についてはどのような内容にするのかきまっているのでしょうか。

AOYAGI 地域盛り上げ隊

まだ詳しくは決まっていますが、時間を区切って活動しようと考えています。

増田委員

活動内容の1月の部分ですが、濱口雄幸生家記念館と書いてありますが、具体的にはどのようなことをするのか教えてください。

AOYAGI 地域盛り上げ隊

五台山地域の人が、生誕 150 周年を祝うイベントを計画していたんですけど、できなかったのが、今年できるようであれば協力したいと考えています。

こども審査員による一次判断

【一次判断の結果】

| No. | 団体名 | 一次判断 | | |
|-----|------------------|----------------|---------------|---------|
| | | いいね！ | もう少し 質問がある | もうちょっと！ |
| 1 | 久重 natural チーム | ●●●●●●●●●●●●●● | | |
| 2 | 高知学芸中学校生徒会 | ●●●● | ●●●●● | ●● |
| 3 | 土佐女子おれんじ flowers | ●●●●●●●●●●●● | | ● |
| 4 | AOYAGI 地域盛り上げ隊 | ●●●●●●●●●●●●●● | | |

5 審査員による公開審議

公開協議① 久重 natural チーム

卯月委員長

11人すべての審査員が「いいね！」と、特段の質問はないということのようですが、せっかくの時間を取っておりますので、このチームの良いところをお二人くらいに聞いてみたいと思います。

岡崎委員

自然のことも考えて、ちゃんと魚を返すことが良いと思いました。

古谷委員

平成30年度と令和元年度の活動にプラスαして、今年から川に関する活動を始めているのがすごくいいなと思いました。

公開協議② 高知学芸中学校生徒会

卯月委員長

もう少し質問があるという審査員がいますので、聞いていきたいと思います。

浅井委員

質問が2つあります。まず、この活動における仮説を教えてください、もうひとつ、資料にあった世

の中を照らす活動にしていきたいという意味を教えてください。

卯月委員長

仮説というのはどんな意味で言われたの？

浅井委員

仮説というのは、この活動における目的が、ゴミを回収することが目的なのか、どういう経緯で。

例えば仮説というのは、～ならば～だろうという形になるんですけど、それが自分は読み取れなかった
ので伺いたいと思いました。

高知学芸中学校生徒会

一つ目の質問に答えます。私たちはゴミを拾うことによって、人々の心はきれいになる。汚れた町は凶
悪犯罪などの犯罪を増加させる傾向にあると心理学の本で読んだことがありました。そのようなことから、
私はゴミを拾うことによって朝倉の人々が幸せな生活を送れる。そう仮定します。

二つ目の質問にお答えします。最近の世間の状態は新型コロナウイルス感染症感染拡大につき、暗いニ
ュースなどがたくさん舞い込み、人々の心はネガティブな方向へ陥っていると思いました。しかし、そん
なネガティブな心もきれいな町を見たらポジティブになると思いました。

川口委員

先ほどの質問と重複するかもしれませんが、私も 50 人という人
数は多いと考えています。50 人で清掃をすることで、どれくらいの
規模でどこの地区を清掃するというのは決まっていますか。

高知学芸中学校生徒会

高知学芸中学校では、今までも夏に朝倉駅を中心とした清掃活動
を行ってまいりました。朝倉駅は、高知学芸中学校や高知大学など
たくさんの学生らが行き来する場所へ建築されています。

すみません、質問をもう一度お願いします。

卯月委員長

50 人は多いのではないだろうか、かなり広い地域でやるので 50 人とおっしゃっているのかという趣
旨の質問だと思います。

高知学芸中学校生徒会

朝倉地区には、ゴミが多いことが先日の取材で分かりました。そのため、50 人という規模で清掃活動を
しようと考えました。

卯月委員長

清掃活動をする範囲もかなり広いということなんですかね。

高知学芸中学校生徒会

はい。

卯月委員長

50 人が一カ所に密になってやるというイメージではないんですね。

高知学芸中学校生徒会



はい。



増田委員

資料の活動目標の所には地域の人と一緒に取り組めると書いてあって、自由記入コーナーの所には、地域の人を集めることを断念と書いてあるんですけど、実際の所はどうなっているかを教えてください。

高知学芸中学校生徒会

私たちの活動は、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止につき、地域の人々と共同して作業をすることは断念いたしました。そのため、資料の地域の人と関わるという事は、チラシにより私たちの活動を知ってもらうという意味です。

古谷委員

清掃活動をするのが7月末だけだとすれば、すぐもとに戻ってしまうかと思うのですが、1回以上やるような計画は立てていないのでしょうか。

高知学芸中学校生徒会

今のところは、このご時世のこともありまして、1回としておりますが、これからも何回かやることを生徒会で話し合おうと思います。

高橋委員

7月末掃除と書かれていて、今のところ1回とおっしゃっていたんですけど、9月から12月までの3カ月間は、チラシを作って配布という予定になっていて、おおまかな時期で書いているんですけど、1回の掃除で活動をまとめて、配るのに、3カ月もいるのでしょうか。9月から12月までのどのくらいまでチラシを作って、いつから配るといふのを教えていただきたいです。

高知学芸中学校生徒会

このような活動をこうちこどもファンドを利用して行うのは今年度が初めてであり、私たちも一から取り組んでまいりました。そのため、初の例と言いましょか、具体的な月日は想像していませんでした。そのため、これからの活動と共に、どのようなプランで進めていくのか、生徒会さらには一般生徒と共に考えていこうと思います。

高橋委員

ぜひ考えてみてください。

卯月委員長

それでは、「いいね！」を入れてくれた岡崎君、この活動で評価するべき点を教えてください。

岡崎委員

僕も高知大学に近くの高知小学校なので、高知学園がきれいになることは嬉しかったので、「いいね！」を入れました。

卯月委員長

近くに通っているんだね。

では、「もうちょっと！」に入れてくれた宇賀みくもさん、なぜ「もうちょっと！」なのか教えてくださいか。

宇賀みくも委員

最初の質疑応答の際に、50人は多いんじゃないかの回答で、外は密じゃないというのに引っかかって。密でなければコロナ対策をしなくていいのかというのと、地域の人を集めることはコロナの関係で断念されたと思うんですけど、この50人は全員生徒ではなく、何人か地域の人を呼べば、人数は変わらないので呼べるのではないかと思うんですけど、どうお考えですか。

高知学芸中学校生徒会

私たちの活動はかなりスケジュールの迫ったものであります。そのため、地域の人を呼ぶという考えは、まず第一の新型コロナウイルス感染症拡大防止という理由と、第二の呼びかける時間がない、そのようなことがあり、地域の人々と共同作業をするという事を断念致しました。そして、50人の生徒を集めるとして、もちろん、新型コロナ対策はきちんとしなければなりません。そのため、手指のアルコール消毒、体調管理などはしっかりとしたうえで行わなければならないと考えております。

卯月委員長

50人については先ほどもご質問があったので、50人があまり密にならないように分散したり、あるいは時間差でやったり、これからいろんな工夫ができるかもしれないので、こども審査員の懸念というのも理解したうえで活動を進めてほしいと思いますが、それでいいでしょうか。

高知学芸中学校生徒会

はい。

公開協議③ 土佐女子おれんじ flowers

卯月委員長

これは、おひとり「もうちょっと！」とでているので、なぜもうちょっとなのか教えていただけますか？

宇賀みくる委員

アンケートとかで逆に嫌がる人がいたりしそうだなと思ったからです。

土佐女子おれんじ flowers

貴重なご意見ありがとうございます。私たちもこのこどもファンドをやるときに、生理の問題について扱うのはとてもデリケートな問題で私も小学生の時に「生理」といわれると、男子にも知られたくないし、友達にも知られたくないみたいな感じで、すごく包み隠そうとしていたんですけど、先日、母からひとつお話を聞いて、その話の中でふと思ったことがあるんですけど、災害が起きたときに、



避難所で男性の方が生理用のナプキンを配るときに、生理用のナプキンって一袋で売られていると思うんですけど、その一袋の中から一枚一枚ずつを渡したということを聞いたんです。多分、その男の人は生理はその一枚だけで足りると思ったんですけど、私たち女性からしたら、全然一枚では足りなくて、その一袋を欲しいと思うところだと思うんです。これを聞いたときに、先ほどパワーポイントの中でもお話したんですけど、生理のことって男性から気を使ってもらっているんですけど、気を使われすぎて知ってはいけないというふうになっているんだなと感じました。

卯月委員長

今の話は大変良くわかりました。ただ、ご質問はアンケートは嫌だったら答えなくてもいいんですよ。
土佐女子おれんじ flowers

はい、アンケートは可能な限りでお答えしてもらおうと思っています。

卯月委員長

それでは、「いいね！」に入れてくれた方から一人か二人聞いてみたいと思います。

森本委員

こういう問題って、女性も男性もあまり触れたくないじゃないですか。それに着目して、こういう活動を私と同じ世代の子がこうやって伝えようと自主的に活動をするというのはすごいなと思いました。頑張ってください。

増田委員

今までに無いような活動をしていくという事で、僕自身もあまり知らないことなんですけど、ぜひ男性にも向けて発信していってもらえたらいいなと思います。頑張ってください。

公開協議④ AOYAGI 地域盛り上げ隊

卯月委員長

これもすべてが「いいね！」ということなので、ぜひ応援したいという人がいたら話を聞きたいと思っています。

高橋委員

実際にコスモス畑に行ったことがあるんですけど、駐車場がなくてじっくりとは見られなかったというのがあって、それを問題にして自分たちの学校を駐車場に使うというのに、見る側からしてとてもいいなと思いました。



増田委員

活動内容としては同じ活動を何回かしてるんですけど、その点ですごく地域のことに積極的に取り組ん

でいるのでいいなと思いました。

田岡委員

もともと活動数が多いと思うんですけど、今回は活動をもう一つ増やして活動していく予定だと聞いたのですごくいいなと思いました。

5 審査結果発表

審査結果発表 吉門副審査委員長

皆さんこんにちは。副審査委員長の吉門と申します。それでは、審査結果の発表をさせていただきます。

※こども審査員の過半数（11名中6名以上）が助成すると判断した場合に助成決定。

| 発表No. | 団体名 | 助成金額 | 得票数 | 助成合否 |
|-------|--------------------|---------|-----|------|
| 第一部 | ① Different | 200,000 | 6 | 採択 |
| | ② Village Jamboree | 200,000 | 4 | 不採択 |
| | ③ おおつっ子 | 150,000 | 6 | 採択 |
| | ④ 未来をかえ隊 | 200,000 | 10 | 採択 |
| 第二部 | ① 久重 natural チーム | 200,000 | 10 | 採択 |
| | ② 高知学芸中学校生徒会 | 198,246 | 1 | 不採択 |
| | ③ 土佐女子おれんじ flowers | 106,352 | 10 | 採択 |
| | ④ AOYAGI 地域盛り上げ隊 | 200,000 | 11 | 採択 |

こども審査員と大人審査員の話し合いの結果は、最終判断シートの通りでございます。ご苦勞様でした。

今回は、残念な結果もありましたが、来年の再チャレンジを期待するとともに、皆さんの、もっと素敵なまちにしたいというやる気をすごく感じられました。

皆さん、本当にお疲れ様でした。そして、合格のグループの皆さん、来年の事業完了のときの発表をとっても楽しみにしておりますので、皆さん、頑張ってください。



こども審査員からの感想発表

【森本向日葵委員から】

皆さん、お疲れ様でした。初めてのリモートでの審査会だったので、団体の皆さんの熱量とかがこっちにうまく伝わるのかなという不安があったんですけど、リモートならではの工夫もあって、すごく熱いプレゼンが聞けて、感動しました。今年は助成されなかった団体もあると思うんですけど、助成されなかったから活動しないとか、活動をやめるのではなくて、自分たちにできることをしっかりと考えて、決して地域の活動をやめないでほしいなと思います。



昨年こどもファンドが行われなくて、その影響で活動が出来なくて、悔しい思いをした先輩とか団体の方もいると思うんですよ。その方たちのことも忘れないで、また、今回助成される額は約 100 万円となっており、そのほとんどが寄付金で成り立っているものなんです。その寄附した方が寄附をしてよかったな、この活動いいなと思ってもらえるような活動を 1 年を通して、地域のためにしてもらえたらいいなと思います。

助成された団体の方は、3月の活動発表会で、今年、残念だった方は、来年のチャレンジをまた期待しております。今日は本当にお疲れ様でした。

卯月審査委員長からの講評及び閉会の挨拶



今森本さんのお話の中にもありましたけれども、昨年このコロナ禍の中でこうちこどもファンドの助成事業が中止になりました。今年度どうしようかと市の方とご相談して、畠中さんと私はぜひ、コロナに注意をしながら、オンラインでやってはどうかということで、今日にいたりしました。結果からみると、通信状態の問題も少しはありましたけれども、無事に終了したということで、事務局の方、それから関係者の方、どうもありがとうございました。オンラインで質疑応答を審査員の方と申請者の方としましたけれども、僕も画面で見ている限りでは必ずしも今までより質疑応答の関係が悪かったというふうには全く思っておりません。むしろ、非常に明確な質問と明確な回答という、1対1の関係は、今まで以上に良かったのではないかと考えていますので、できれば対面の方がもちろんいいんですけど、仮にオンラインになっても、今回のノウハウというのは蓄積されましたので、このような形でも実施できるのではないかと考えています。

さて、実際の内容ですが、はっきり申し上げて少し意外でした。8つのチームのうち2つが選にもれて

しまうというのは、残念な気がいたします。もう少しだったのにな、という気がします。特に Village Jamboree の方は、4つの商店街の活性化という高知市にとっても大きなテーマに取り組んでいた。逆に言えば、クリーン作戦みたいなものよりもテーマがとても大きかったので、事前調査と言いましょか、企画書、計画書を書く前の事前準備みたいなものが少し不足していたという事が、質疑応答の中で明らかになってしまったという感じがします。本当にもう一歩だったかなという感じなので、引き続きこの商店街の活性化に取り組んでほしいなど。資金提供はできないけれども、高知市役所としては皆さんのこの活動というのはとても重要だと思っていると私は知っていますので、本当にギリギリのところでは惜しかったんですけど、何らかの活動をしていただいて、ぜひ来年につなげてほしいと思います。

学芸中の生徒会、質疑応答でも随分と頑張ってくれました。僕は非常に好感を持ってました。ただ、今回は清掃活動とか一種のクリーン活動というのが、学芸中のほかにも3つくらいあり、多かったですよね。そういう意味で比較すると、準備が不足しているなど感じました。完璧なプレゼンテーションを我々は望んでいるわけではないですが、ひとつひとつの質問に対して、自信をもって答えることも重要だけど、もし質問者の方の意見も一つの意見としてあるなど思ったのならば、「今後検討します」とか、「その点は実践の中で改善していきたいと思います」という回答もあったのかもしれないので、その辺も含めて、とても活動としては重要だし、朝倉のまちをきれいにするという事は重要だと本当に思いますので、小さな一歩でも今年度活動していただいて、次年度につなげてほしいと思います。がっかりしないで、市役所の人も我々もみんな応援していますので、せっかくの問題提起、良い発想を持ったことに自信をもって、これからにつなげていってほしいと思います。いいアドバイスをもらったと思って進めていただけたらと思います。

あと、いくつか感じたのは、やはり継続しているチームがそれなりに事前の準備、あるいは質疑応答などがきちんとできていたなというふうに思います。それは、久重のチームとか AOYAGI のチームだと思います。どちらも3回目だったでしょうか、やはり、先輩の活動の経験が活かされて、計画書としてもきちんとできているし、同じ活動ではなしに、発展していることがとても評価されたのではないかと思います。

ただ、もう一つは、初めてのチームなんだけれども、とても評価が高かったというのが、土佐女子おれんじ flowers だと思います。申請された方も言っていたけれど、やはりなかなかとつきにくいテーマといえますか、今はコロナ禍の中で比較的新聞でも取り上げるテーマになってきたり、先ほど、被災地での避難所の話でも取り上げられて、本当に重要なテーマだと、だんだん皆さんの中でも認識されつつあることを、中学生が勇気をもってあのような企画書にまとめて、かつそれを発信していきたいという事で、DVDを作るというその企画は大変感服しました。ぜひ実現してほしい。さすが高知ならではのちぎんと書いてありましたけれども、高知の女性の発想なり活動ではないかと思いました。

もうひとつおもしろいと言ったら失礼ですが、土佐女子おれんじ flowers に一人だけ、宇賀さんが、アンケートに答えたくないなという人とか、答えない人もいるんじゃないかという、本当に素直な気持ちで「もうちょっと」って一人だけ入れてくれた、この勇気というのも素晴らしかったし、最後に増田君にふったとき、男性がこういうことはとてもいいことだと思っています。という発言もとても良かったと思います。さすが、10年間この高知でこどもファンドを実践してきた成果が皆さんの発言なりに表れているんじゃないかなと思っています。ちょうど10年をむかえますので、市役所の方ではこの10年をもう一度検証し、将来に発展させるための見直しを図りたいというふうに考えているようですので、今日の結果なども踏ま

えながらさらに次年度以降発展するようお手伝いをしていきたいと思っております。

本来は、高知に行って皆さんの顔を見ながら進行のお手伝いをしたかったのですが、東京からで大変残念ですが、来年、3月の発表会ときには現地でお会いできればありがたいと思います。

本日はどうもありがとうございました。

畠中アドバイザーより一言

1年ぶりに開催された公開審査会。今年は、同一建物の中の4会場をリモートでつなぐという、これまではなかった方式にチャレンジした公開審査会でした。団体の想いが、リモート方式で審査員に十分に伝わるのか不安もありましたが、地域コミュニティ推進課の皆さんのご苦勞もあって、審査員には団体の想いは届いていたようでした。

今年は、「コロナ」禍という状況の中、当初、8団体の皆さんに直接アドバイスする機会がありませんでした。申請書が提出された段階で、気になる点や「こうしたことも考えてみてみたらどうでしょう」ということを、地域コミュニティ推進課を通じて伝えさせていただきました。その後、4団体に関しては、対



面でアドバイスする機会をいただき、一緒に考え方を整理することができましたが、残念ながら8団体中2団体が助成を受けることができませんでした。

助成を受けられなかった2団体の皆さんには、せっかくの想いを何らかの形で進められるよう、地域コミュニティ推進課とともに、応援していければと思っています。また、助成を受けた6団体の皆さんの取り組みが、来年3月の報告会までにどのように展開されるか楽しみにしています。

資料編

- 高知市子どもまちづくり基金助成金交付要綱
- 令和3年度公開審査会アンケート結果
 - ・一般来場者
 - ・応募団体向け（対象：子ども）
 - ・応募団体向け（対象：大人サポーター）

高知市子どもまちづくり基金助成金交付要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、高知市子どもまちづくり基金条例（平成24年条例第23号）第1条に規定する基金の設置目的を達成するため、高知市子どもまちづくり基金助成金（以下「助成金」という。）を交付することについて、補助金等の交付に関する条例（昭和29年条例第19号）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(助成対象団体)

第2条 助成金の交付の対象となる団体（以下「助成対象団体」という。）は、次に掲げる要件のすべてを満たす団体とする。

- (1) 本市に在住又は通勤若しくは通学している18歳以下の子どもが3人以上いること。
- (2) 団体の責任者及び監査として、20歳以上の大人が2人以上いること。
- (3) 活動の目的が明らかであり、当該助成に係る事業を自主的に行えるものであること。
- (4) 複数の世帯で構成される団体であること。
- (5) 過去に、同一の事業についてこの要綱に基づく助成金の交付を3回以上受けていないこと。
- (6) 団体の運営に関する規約、会則等を定めており、適切な会計処理が行われていること。

2 前項の規定にかかわらず、助成対象団体が、高知市事業等からの暴力団の排除に関する規則（平成23年規則第28号。以下「規則」という。）第4条各号のいずれかに該当すると認める場合は、助成金の交付の対象としない。

(助成対象事業)

第3条 助成金の交付の対象となる事業（以下「助成対象事業」という。）は、本市内において、子どもが主体となって取り組むまちづくり活動に係る事業とする。

2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる活動は助成対象事業としないものとする。

- (1) 営利を目的とする活動
- (2) 宗教的又は政治的な活動
- (3) 学校の授業の一環として行う活動

(助成対象経費)

第4条 助成金の交付の対象となる経費（以下「助成対象経費」という。）は、助成対象団体が行う助成対象事業に要する経費とする。

(助成金額)

第5条 助成金額は、助成対象経費の額を限度として予算の範囲内において、市長が認める額とする。

(助成金の交付申請)

第6条 助成対象団体は、助成金の交付を受けようとするときは、助成金交付申請書（様式第1号）に、必要書類を添えて、市長に申請しなければならない。

(助成金の交付決定)

第7条 市長は、前条の申請があったときは、その内容を審査し、助成金の交付の可否を決定し、適当と認めるときは助成金交付決定通知書（様式第2号）により、適当でないと認めるときは所定の助成金交付却下通知書により当該申請をした助成対象団体に通知するものとする。

2 市長は、助成金の交付決定に際し、必要な条件を付することができる。

（交付申請の取下げ）

第8条 前条第1項の規定により助成金の交付決定を受けた助成対象団体（以下「助成事業者」という。）は、その内容又はこれに付された条件に不服があり、交付申請を取り下げようとするときは、当該交付決定の通知を受けた日から2週間以内に、その旨を所定の助成金交付申請取下届出書により市長に届出るものとする。

2 前項の規定による申請の取下げがあったときは、当該申請に係る助成金の交付決定はなかったものとみなす。

（変更承認等）

第9条 助成事業者は、助成金の交付決定を受けた事業（以下「助成事業」という。）について、事業内容を変更し、中止し、又は廃止しようとするときは、あらかじめ助成事業変更等承認申請書（様式第3号）により、市長に申請し、その承認を受けなければならない。

2 市長は、前項の申請があったときは、速やかにその内容を審査し、変更等の可否を決定し、所定の助成事業変更等承認（否認）通知書により当該申請をした助成事業者に通知するものとする。

（実績報告）

第10条 助成事業者は、助成事業が完了したときは、速やかに実績報告書（様式第4号）に、関係書類を添えて市長に報告しなければならない。

（助成金額の確定）

第11条 市長は、前条の報告があったときは、速やかにその内容を審査し、助成事業の成果が助成金の交付決定の内容及びこれに付した条件に適合すると認めるときは、交付すべき助成金額を確定し、助成金額確定通知書（様式第5号）により助成事業者に通知するものとする。

（助成金の交付請求及び交付）

第12条 助成事業者は、前条に規定する助成金額の確定通知を受けたときは、助成金交付請求書（様式第6号）により市長に助成金の交付を請求するものとする。

2 市長は、前項の請求があったときは、速やかにその内容を審査し、適当と認めるときは、助成金を交付するものとする。

（助成金の概算払）

第13条 市長は、助成事業について必要があると認めるときは、助成金の概算払をすることができる。

2 助成事業者は、概算払を受けようとするときは、助成金概算払請求書（様式第7号）により、市長に請求しなければならない。

（助成金の交付決定の取消し）

第14条 市長は、助成事業者が次の各号のいずれかに該当したときは、助成金の交付決定を取り消すことができる。

- (1) 偽りその他不正の手段により助成金の交付を受けたとき。
- (2) 規則第4条各号のいずれかに該当することとなったとき。
- (3) 助成金を助成事業の目的以外に使用したとき。
- (4) 助成事業の実施方法が不相当と認められるとき。
- (5) 助成事業を中止又は廃止したとき。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、助成金の交付決定の内容又はこれに付した条件その他この要綱に基づく命令に違反したとき。

2 前項の規定は、助成事業について交付すべき助成金額の確定があった後においても適用があるものとする。

3 市長は、第1項の規定による取消しをしたときは、所定の助成金交付決定取消通知書により、助成業者に通知するものとする。

(助成金の返還)

第15条 市長は、前条第1項の規定に基づき助成金の交付決定を取り消した場合において、助成事業の当該取消しに係る部分に関し、既に助成金を交付しているときは、期限を定めて、その返還を命じなければならない。

2 市長は、助成業者に交付すべき助成金額を確定した場合において、既にその額を超える助成金を交付しているときは、期限を定めて、当該確定した助成金との差額の返還を命じなければならない。

(調査等)

第16条 市長は、助成事業の適正な執行を確保するために必要な限度において、助成事業者に対し、書類の提出若しくは報告を求め、又は必要な調査をすることができる。

(整備保管)

第17条 助成事業者は、助成事業に係る帳簿及び関係書類を整備するとともに、助成事業の完了した日の属する年度の翌年度から起算して5年間保管しなければならない。

(その他)

第18条 この要綱に定めるもののほか、助成金の交付に関し必要な事項は、市長が別に定める。

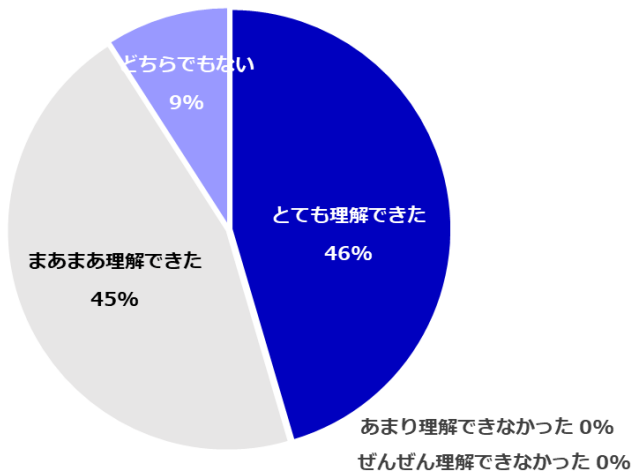
附 則

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

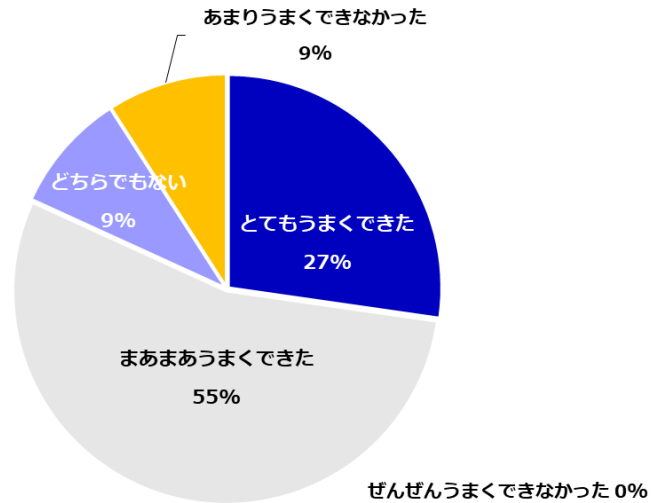
令和3年度公開審査会 【こども審査員アンケート】

アンケート回答数：11人

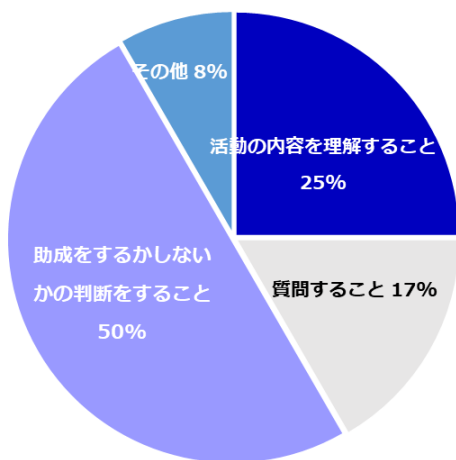
問1 発表はよく理解できましたか。



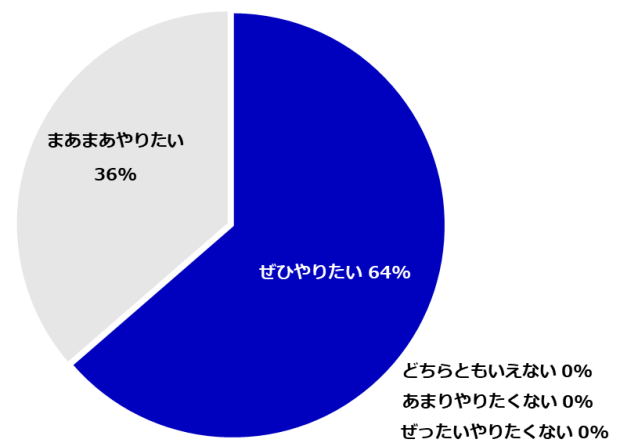
問2 質問はうまくできましたか。



問3 もっとも難しかったのは何でしたか。



問4 また来年も審査員をやりたいと思いますか。

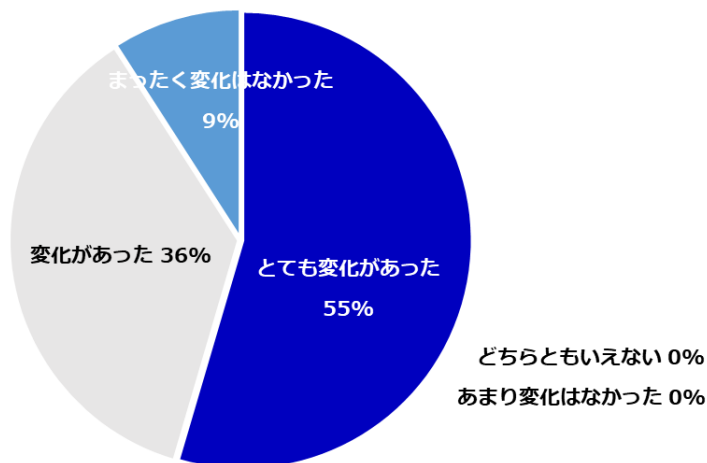


【その他】

・なぜそのひょうに入れたのか答えること。

問5 審査員を経験して、自分の行動や意識に変化はありましたか。

また、どんな変化がありましたか。



- ・よくはっぴょうするようになった。
- ・自分と同世代の子どもがいろいろなことをしていることが分かった。
- ・地域でのボランティア活動に積極的に参加しようと思えた。
- ・周りの友達がやっている活動に目を向けてみたり、自分自身も防災などについて学ぼうと思うきっかけができた。
- ・様々な視点を持って物事を見られるようになった。積極的に質問できるようになった。
- ・私ももっと広い視野を持ち、物事に取り組みたい。また、私も新たな活動にチャレンジしたい。
- ・たくさんの子供の意見や、活動などをきいて、私は、大人より子どもの方が活動力があるし、活発だし、こういう活動に向いていると感じました。
- ・自分たちみたいな”こども”でもできる活動は広いんだなと思った。
- ・子どもたちがやる活動に興味を持った。
- ・7年間子ども審査員として活動出来て良かったです。卒業後も機会があれば参加したいです。

問5 審査員をやってみてどのように感じたか、また、本日の感想など自由に書いてください。

- ・とっても楽しかった。これからも、つづけたいです。
 - ・とてもたのしかった。
 - ・初めての審査員でしたが何回も審査員をしている人が引っ張ってくれたことが印象に残りました。子どもが町づくりのためにいろいろな活動をしているということが知れて良かったです。審査会でのプレゼンはオンラインだったけれどどのチームも熱意が伝わって本気ということが伝わりました。
 - ・今年は、コロナ対策といったイレギュラーなことがありつつも普段と同じかそれ以上の熱量を感じられて、地域のことをもっと盛り上げようと思えました。
- 今年は、助成団体の個性が活かされていて、今までにない活動団体のプレゼンを多く聞け、自分自身の成長にもなりました。

・どの団体も「地域をよくしたい！」とか「周りに伝えたい！」という思いがすごく伝わるプレゼンでした。

今までに引き続いてやる団体、今までにない課題について活動していく団体など、いろいろな団体があってよかったです。ぜひ、1年間を通してがんばってもらいたいです。

・同年代の人の様々な意見が聞けて良かったです。

今年は審査員として参加しましたが、私自身も地域の課題などを考えるきっかけになりました。

審査をする際に、質問の仕方など悩む点は多々ありましたが、他の審査員の方々の意見や質問などを聞いて学ぶことができましたし、様々な視点や考え方を持つこともできました。今回の審査員としての経験は考えの幅を広げる上で大切なものになったと思います。

・審査をすることは大変で、もし落ちた団体があり、その団体の1年間の計画をくずしてしまうとなると心苦しいことだと思います。ですが、地域のためにたくさん考えてくれたことは良いことだと思います。これからもっと幅広い分野の活動が出てくると期待できるのでがんばってもらいたいし、私も何かできることに取り組めたら良いなと思いました。

・前は、審査員ではなく参加チームとして参加していたけれど、今回審査員をしてみて、よく企画書をよみ、これから継続できるか、意味がちゃんとあるかなどたくさんのことを考える経験ができてよかったです。

・大人より「子ども」でしかできない視点で計画しているところがあって未来があるなと思った。

「子ども」だからこそ大人の問題に関わらないではなく、率先して社会に関わろうとしている姿が好印象だった。また、こういう場で今の学生の意見を聞けるのはとても貴重だとかんじた。

・私はこどもファンドの審査員をやり、高知の子どもたちが自主的に素晴らしい活動を行っていることを知れました。

こどもファンドに関わっていなかったら、このように子どもたちが活動していることを知ることもできなかったと思いますし、このような活動に興味を持てなかったと思います。

審査をするとき、普段考えないことについても質疑応答しなければならないので、難しいと感じたり、不安に思うことは多々ありましたが、何度か行っていくうちに、力がついてきたなと感じます。

こどもファンドに関わって10年、審査員になって7年になりました。ファンドには多くのことを学ばしてもらい、心から感謝しています。

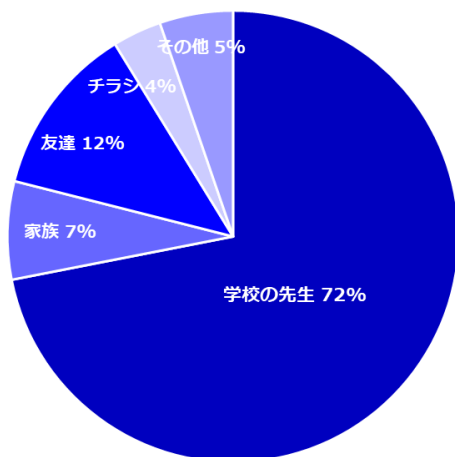
・昨年コロナで中止になり、1年ぶりのこどもファンドだったけれど、どの団体も自分たちのやりたい！！を自分たちの言葉でつたえていてリモートでの審査会でもそれぞれの団体から熱意が伝わった。

子ども審査員としての活動は今期で終わってしまうが、また違う形でこどもファンドと関わっていきたいと感じた。

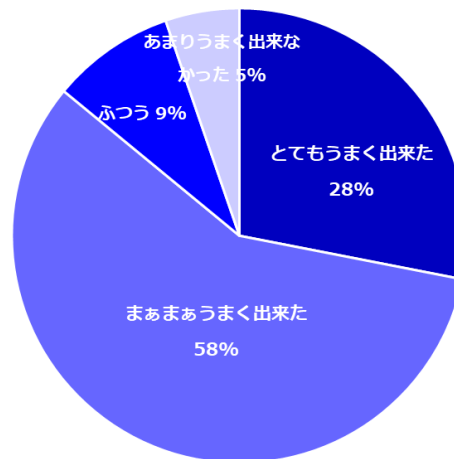
令和3年度公開審査会 【応募団体向けアンケート（対象：子ども）】

アンケート回答数：57人

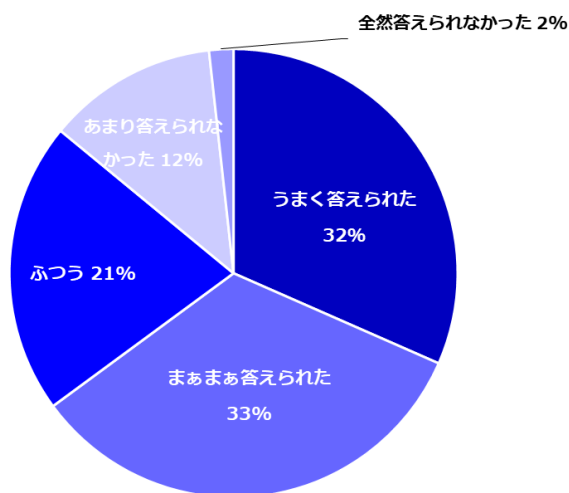
問1 こうちこどもファンドのことは
どうやって知りましたか。



問2 発表はうまくできましたか。



問3 審査員の質問にきちんと答えられましたか。

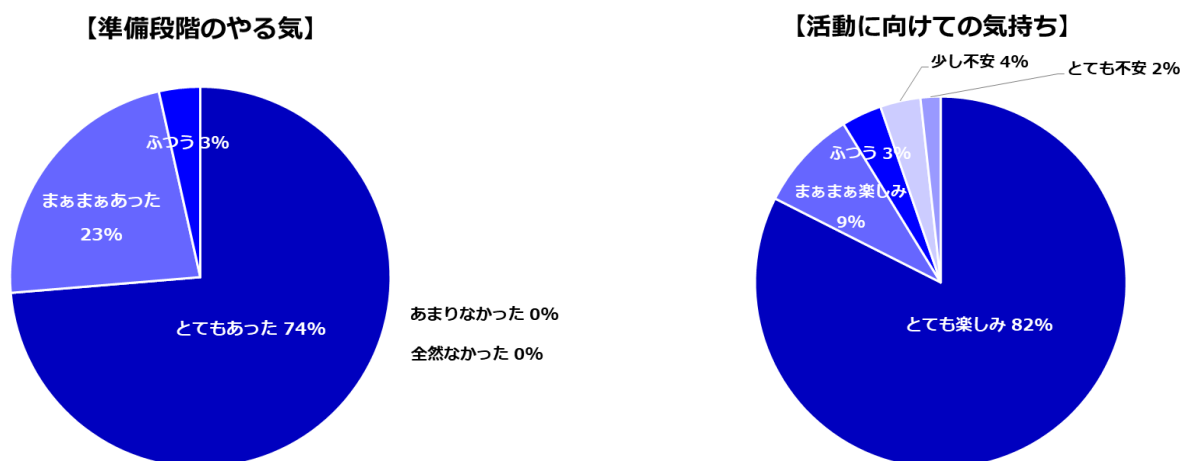


問4 他のグループの発表、質疑応答を聞いてどう思いましたか。

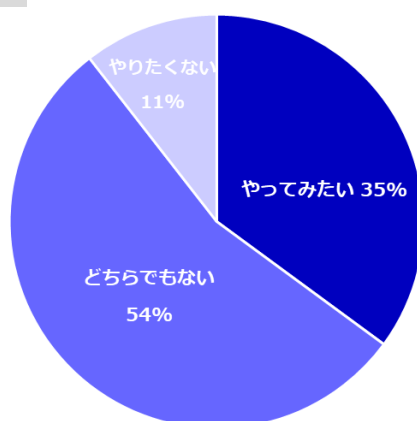
- ・ 目的と手段の関連性が明確でわかりやすい。ハキハキとして聞き取りやすく、説得力が生まれている。
- ・ 質問の数 = 計画に少し穴があるというわけではないが、聞いていてタメになる。お互いがよく企画について考えていることがよく分かり、またどの部分を直したり調整すべきなのかもよく分かる。
- ・ Village Jamboreeさんは声が大きく、ゆっくりで聞き取りやすかった。おおつつ子さんは、ステージを効果的に活用することができていた。劇などもあり、わかりやすい発表だった。
- ・ 劇を用いた発表をしていて、親しみやすくわかりやすい。必要なものリストなどを提示すると数値化が具体的にできることが分かった。
- ・ 防災について、高知に商店街についてなどさまざまな取り組みのプレゼンがあって、大津中でもこどもファンドだけでなく、日頃の活動で防災についてなどを伝えていけたらいいと思う。

- ・事前に打ち合わせをして、質疑応答で何を質問されるかを予想しておく必要があると思った。リモートだからか、はっきりと大きな声で話さないと聞こえないと思った。
- ・今の時代の特徴である、SNS を利用していたり、活動内容も細かく書かれていた。また、実際のデータ(数字)で資料を表しているのがとてもよかった。次にそういう場面があったら参考にしてみたい。
- ・質疑応答の際でも、詳しく、間を開けずにスラスラと答えられることが良かったと思います。
- ・劇を行ったり、写真を使って分かりやすくしたりなど、工夫されていて見る人の視点となって準備しているのが良いと思った。成果物のイメージを持ちやすい発表でどういう活動なのかも、どういう目標なのかも想像しやすかった。審査員の質問が幅広く、グループの活動をより知れるような内容だったし、グループ側の回答も積極的な応答かつ効果的で、自分たちの団体のアピールがとても良かった。
- ・他のグループの方々がとても落ち着いて回答をされていたので、とても感心しました。
- ・全体的に、SDG s について取り上げられている学校さんがとても多く、コロナ禍の中で作業をしていくというのはとても厳しいことだと思いますが、前向きに物事にとりくむ姿がとても素敵でした。質疑応答では、各団体さんが今日までいろんなことに目を向け準備されてきたからこそ答えることができたり、意見をいただくことができたのではないかと感じます。
- ・学芸中の生徒会の発表がとても分かりやすく、「何々をしたい！」という願いがとても伝わってきました。
- ・土佐女子の方の発表が女子高にしかできない女子の悩みについての活動を発表してくれていてすごく共感できたとし、アンケートなど手伝えることがあればお手伝いしたいです。
- ・他のグループを聞いて、学校をよりよくするため、地域との関わりを深めるため、いろんな目標があって取り組んでいるんだなと思いました。清掃の取り組みのグループが多かったなと思いました。
- ・質疑応答が上手くて、声もはっきりしていて聞き取りやすかった。質問の内容をしっかりと理解して答えて意見を述べていて堂々としていてすごかった。自分の発表にも取り入れていきたいと思った。

問5 「審査会発表に向けて準備をしているときのやる気」、「プレゼンテーション後、活動に向けての気持ち」として当てはまるものはどれですか。



問6 こども審査員をやってみたいと思いますか。「やってみたい」または「やりたくない」を選んだ方は、その理由もお書きください。



【やってみたい理由】

- ・体験として、客観的に提案について見てみたい。高知のより良い未来について考えたい。
- ・自分の町をよくするための活動に参加するだけでなく、後押しするための力になればと思うからです。また、様々なアイデア、案に出会うことも素晴らしいと考えています。
- ・自分にはない、他の視点から高知をよくするための活動を知りたい。もし、自分もこどもファンドの活動を行えたら、それをふまえて自分の経験を継続的に活用していきたい。そして、何よりも私は高知が大好きだからです。
- ・今回私が発表者側で審査員からの質問を聞いて、「たしかにそれ分からないかも」と自分が抜かしているところに気づきました。私も審査員をすることで今後のプレゼンなどに活かせそうだったからです。
- ・今回、こどもファンドを初めて応募してみて、もっとこどもファンドの活動に貢献がしたいと思いました。
- ・今、いろいろな学校がどのような活動をして高知を良くしたいのか知れて、自分たちの考えだけでなく、さまざまな取り組みを知れたから。
- ・こども審査員をして、それぞれの学校の「地域のために行う取り組み」を聞くことができ、それによって自分たちの地域活性化のヒントになったり、自分たちが審査をしてより良いものにしてゆくことで、地域だけではなく、高知県全体をよりよい県にしてゆけると思ったから。
- ・いろいろな学校の取り組みのアイデアが自分の学校でも応用できないか考えられるからです。また、同じくらいの年齢の方がプレゼンを企画し、頑張っているところを見ると自分も頑張ろうと思えるからです。
- ・自分たち子どもの力で高知を良くすることができる。ということが、とても魅力的だと思うので、また機会があればやってみたいです。
- ・自分が「公開審査会」に出たという体験をもとに良い点、悪い点を具体的に伝えられる自信があるから。高知県の発展や未来に関わることについて討論できるから。
- ・様々な価値観を学ぶきっかけとなると捉えた。

- ・たくさんのグループの情熱のつまった発表を聞けるのが楽しそうだからです。
- ・今回参加して思ったことなのですが、それぞれの団体さんが自分たちが感じた疑問などをテーマにされていてとても興味深かったです。これから先ほどのような団体がどんな活動をしていくのか見てみたいと思います。

【やりたくない理由】

- ・私自身が厳しい観点で見るのが苦手で、するどい視点での質問ができないと思われるので、えんりよします。
- ・私はまだ公開審査会に出た（発表者応募者として）回数が今回一回しかありません。なるべく、多くの経験を積み、より正確な判断をすることができるようにしたいと思ったからです。
- ・うまく質問できるか分からない。
- ・「こども審査員」という立場に立ち、活動を審査する、見る側としてこどもファンドにたずさわりたい、こども審査員をやってみたいという気持ちはもちろんあるが、それ以上に、参加チームとして活動し、地域の方と交流したり、自分たちが主体となって地域を良くしていきたいという気持ちの方が大きいので、これからこどもファンドに参加する際には、審査員ではなく活動団体として参加していきたいから。でも、そのこどもファンドの中で参加型のことや主体的にできることは、自分たちから積極的に参加していきたいと思う。
- ・急に話をふられてもきちんと答えられる自信がないから。
- ・質疑応答が難しいから。

問7 そのほか、審査会やこどもファンドについて、もっとこうしてほしいことや、これからの活動の意気込みなど自由に書いてください。

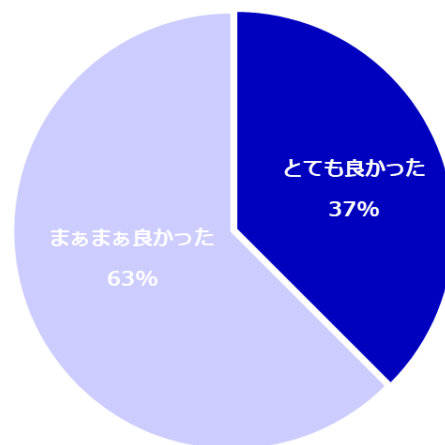
- ・他のチームも質問ができないのか、気になる。様々な人の視点から質問があった方がより気づくことがあったり、自分の企画について考えることができるのではないかなと思う。
あと、質問の意図が分かりにくい。
最終的には判断を下すのは審査員だが、審査会の中でも案について話し合えるような機会があれば良いと思った。
- ・発表する方にもマイクなどを用意してしゃべりやすくすると思った。
自分たちの想いをしっかりと伝えられるように、こういう状況下でなければ対面でも行いたかった。
- ・私はもともと地域の良いところを広めたいと思っていました。ですが、今はこのメンバーと防災とつながりという目標が最良だと感じています。人とのつながりというのは、高知での1番のみりよくと言っても過言ではありません。私はそんなこの活動を絶対に成功させたいと思っています。
- ・もしも通ったらめっちゃがんばりたい！「高知の良いとこめっちゃあるでー」って高知の人にも県

外の人にも気づいてもらって高知がもっと良いところになってもらえたらなって思ってる！

- ・今回はコロナ禍ということもあり、リモートでのプレゼンとなったが、少し聞きづらかったりしました。次は直接プレゼンの場が作れるように自分たちの学校での感染対策などもしていきたい。
- ・コロナのこともあって1つ1つの取り組みを慎重にやっていかないといけないけど、その中でも、工夫していたりして自分たちももっと気を引き締めて改めて頑張らないとなって思いました。
- ・私たち、審査される側はとてきんちょうしているので、質問のときに、質問だけでなく良いところも伝えてほしい。
- ・今日の審査会は、コロナによってこれまでと全然違った形、内容も多少コロナの話題が出てきて、私たちの審査会での発表方法、これからの活動方法、審査員からのコロナ関連での質問が多かった。それについて、事業の方からコロナに関して「このような活動をしてほしい」「このようなことに気を付けてほしい」など具体的なものでなくて良いので、多少参考になるコロナ感染防止策を提示してほしいと思った。それにより、私たち子どもも、より主体となった活動、臨機応変な対応ができると思った。
- ・もう少し改善点や質問を多くしてほしい、指摘をしてほしいです。
- ・これからの活動で、少しでも高知市に伝わるように活動ができるようにしたいです。また「SDGs」についても学習を進めているので、「SDGs」についての考えを久重にも、高知市にも伝えたいです。
- ・もっと分かりやすくしてほしい。
- ・音質を良くしてほしい（質問が聞きとりづらい）
- ・審査員からの質問をもう少し減らしてほしい。
- ・同じような質問を二度以上聞いたり、パンフレットに書いてあるようなことも質問されていたので、その質問は一度でいい気がしました。男女の壁のないまちにしていければと思います。タブー視されてきたからこそ、そのことを世間の方々に伝えるような活動がしたいと思います。
- ・今回いただいた意見をもとに、もっとグループで話し合いをし、よりよいものを作っていきたいと思えます。
- ・こうちこどもファンドで全員の審査員の方からいいねをもらうことができ、すごくうれしかったです。とりくみ内容やこれからのとりくみ内容をほめていただいたりして、これからもっと活動に力を入れたいと思えました。
- ・今年は、リモートだったので仕方なかったけれど、通信や声に通じてなかったり、時間を押してしまうところもあったので、そこをスムーズにしていけたらもっと良くなると思います。せっかく取り組みができるようになったので、私も地域の取り組みに全力で貢献し、自分の地域、そして学校のためにもなるような活動へとしていきたいです。

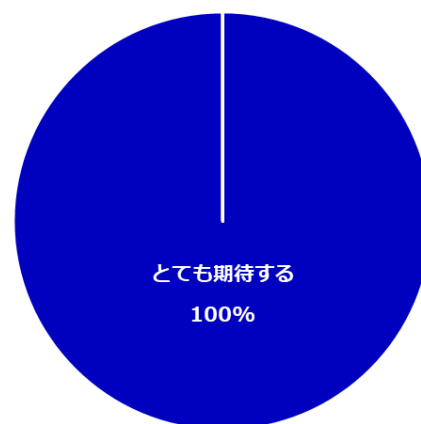
問1 審査会の進め方はどうでしたか。

- ・カメラや音声の切り替えが大変そうでした。新しい形での開催をしていただけてありがとうございます。
- ・プレゼン開始前にマイクテスト・確認をしてからだともう少しスムーズだったと思います。
- ・リモートで開催するという感染予防を行ったなか事前説明を丁寧で落ち着いて発表することができました。仕方ないことではありますが、声の聞き取りにくさがあった。
- ・コロナでできないではなく、対策を考えて実施をしていて、とても安心して参加することができた。
- ・オンラインで密を避けながら行う工夫がされていてよかったです。
- ・進め方はいいと思う。長時間というのがこれまで長かったが、ちょうどの時間であった。他団体との交流という点では、国際中の未来をかえ隊と繋がる鏡川の上流での活動の久重 natural チームです。他団体との交流ができるとも考えました。
- ・コロナ禍のなかで、オンラインで行われましたが、割合テンポよく進んだと思います。
- ・一同に集まってできないのは残念でしたが、何組かのプレゼンを拝見できたことはタメになりました。リモートでのトラブルが仕方ないとはいえ、子どもたちにも負担になったと思います。一方で、人前に出るのが苦手な生徒も堂々とするのができたのは、思わぬ産物でした。



問2 これから子どもたちが進める活動について、今どのように思いますか。

- ・子どもたちが主体的に計画しているものを見守るだけですが、心の中では精いっぱい応援したいと思います。
- ・コロナで制限されることが多いと思うのですが、今が一番活動しにくいときなので、踏ん張ってほしいです。
- ・子どもたちがやりたいと決めたことなので、全力で応援したい。コロナ禍という予測困難な時代なので、子どもたちと臨機応変に対応したい。
- ・生徒が主体的に考えたことで、その実現に向けて生徒会一人一人がやる気を出しているのが、とても期待している。教員側も最大限サポートしていきたい。
- ・地域や大人を巻き込みながら、自分たちで課題意識を持った取り組もうとしていることが伝わってきて、とても良いことだと思いました。



- ・自主的な行動へいざなえる様、大人の役割を考えていきたい。
- ・様々な団体がいろいろな思いをもって活動していることが分かりました。
- ・女子高の特製を自分たちで見出し、小学生や男子に理解できないかも心配していましたが、思いの他ポジティブな応答を得られ、やる気も増しているかと思います。

問3 子どもがまちづくりに関わることで、自分の行動や意識にどのような変化があると思いますか。

- ・以前から地域のお祭りに積極的にかかわったり、地域活性化のための高知市の事業に参加したりするなど、地域に関して深く考え、行動している子どもです。関心のある事柄をより深く考える機会を与えていただけてありがたいです。
- ・他人事ではなく、自分のことだと大人が気づき、大人も積極的に参加することになればいいと思います。
- ・助成金をいただいたうえでの活動になるので、子どもたちの行動や発言に責任感が身についていくと思う。
- ・地域の課題に自ら気づき、改善しようとすることで地元がもっともっと好きになれると思う。
- ・県外に意識が向いた時でも、自分たちの住んでいるまちのことを良く知っている、好きになれるという軸足を地元に残したまま活躍できるのではないかと思います。
- ・将来地域づくりに参加する意識や意欲につながると思う。
- ・子どもが真剣に取り組む姿を見て、大人もたくさんのことを学べると思います。
- ・地域に関わりながら活動することで、自分の身の回りを大切にする気持ち、周囲に育てられている自分を大切にすることもできるようになると思います。
- ・自分のまちのよさや課題に気づき、活動を計画していくことで主体性を伸ばすことができるのではないかと思います。

問4 本日の審査会や「こどもファンド」の制度に関して、もっとこうして欲しいという点や、お気づきになった点があればお書きください。

- ・こどもファンドが10年目ということは社会人になって卒業生もいると思うので、その方々のその後を何らかの形で教えてもらったり（こどもファンドが何か役立ったりしたかなど）、OBOGとして審査に加わってくれたらいいなと思います。
- ・子どもが校外で活動できる環境を創っていただけてありがたいです。助成金をいただくとなると仕方ないとは思いますが、書類が複雑だと感じます。もう少し簡易化されると嬉しいなと。
- ・リモート開催への準備等、本当にお世話様でした。リモートは音声への課題があると思いますが、様々な取り組みをやってみないと分かりません。経験を重ね、私たちも成長していきたいです。
- ・今回初めて参加して勉強になりました。事前の準備の大切さが分かりました。
- ・子どもが地域の方と共に最後の1年を充実したものにできるようにがんばりたいと思います。

【発行】

高知市 市民協働部 地域コミュニティ推進課

〒780-8571 高知市鷹匠町2丁目1-43

TEL / 088-823-9080

FAX / 088-824-9794

<令和3年8月発行>